

前ページから

作って協議している。去年まで一切シルバー人材センターに委託して行っていたが、5人を常駐させて管理する体制を考え、一般公募した。集中的に管理が必要なときはシルバーを頼む。まずはこの5人体制でやってみてだめなら民間委託を考える。

◆去年は駐車料で700万円収納して、ガードマン、シルバー人材センターへ500万円、残り200万円を芝桜の苗代にした。800万円は村から持ち出した。今年からは、花づくりに興味のある人を行政だよりで募集している。

◆芝桜祭りは、実行委員会を組織して4月29日から5月21日まで行うので、農産物のある人は

是非出店して欲しい。平田村の人は売るのが下手なので是非加入して参加して欲しい。



●ぬくもり・あんしん(保健・医療・福祉分野)

保健・医療体制、地域福祉、社会保障の充実

質問

◇滞納をどう考えるか。◇税のほかの収入はあるのか。◇滞納整理をきちんとやって欲しい。◇滞納で会社に連絡されるのは不満だ。◇差し押さえを積極的に行う。◇税金の納入は個人の払える方法を考えて欲しい。◇期日まで納めないとすぐ督促が来るのは気分がよくない。◇公共料金の口座振込みは行政とJAの調整が必要ではないか。◇納税組合の口座引き落としの手数料を今までどおりの取り扱いでできるように農協に依頼して欲しい。◇金のある人ほど払わない。◇滞納額はどのくらいか。◇国保税滞納世帯に保険証を出しているのか。◇滞納者にはもっと厳しく対応すべき。◇介護制度を上手に利用◇医療費の高騰についての考えを問う。◇早期発見・早期治療を推進しながら検診料の個人負担増は逆行しているのではないか。◇検診料の個人負担増は受診率、医療費の推移により検討して欲しい。◇検診料料金改定の周知方法は。

回答

◆介護保険計画は3年ごとに見直しを行い、現在3回目の改正となっている。制度を上手に利用し、不安を取り除いてほしい。
◆老人医療給付費は高く、医療費も毎月7千万円程度支払っている。このため、保険料も高くなっている。介護保険給付費も高い。
◆村としては、保健師による健康づくり事業、健診による疾病の早期発見・早期治療、医療機関への時間外受診の抑制指導、レセプト点検の強化、健康づくり相談会等を実施し、医療費高騰を抑制する事業を行っている。あとは、自分の健康は自分で守ることを基本に、自ら注意してもらうことが大切である。
◆本村の税収状況について普通税の地方税は村民税、固定資産税、軽自動車税の3つになる。

納税率は98.18%、100人中98人は完納、2名は次の年になる。過年度分は11%、現年度98%にもって行くため現年度優先で納めると過年度の納税率が上がらない。国保税は目的税で今年1,700万円の増税になります。医療分が1千万円で700万円が介護納付分。介護保険は30%上がった。65歳以上は健康福祉課で取り扱い、年金天引きで納める。40歳から65歳までは所属する健康保険組合から徴収するので、国保の人は村へ納付することになる。介護保険制度は、地域全体で支えあうということなので去年は高くなって苦情があった。徴収率は93.29%で管内では一番良かった。国のノルマがあり、達成すると調整交付金が多く来る。滞納分の徴収率1%上げる取り組みをする。差し押さえもする。債権差押さえもする考えです。会社に給与の照会や預金の照会をして差し押さえもある。納税の推進では、納税組合は5世帯以上だが2~3世帯でも組織を認めて5世帯以上になるよう推進している。

◆滞納している世帯には有効期限が6ヶ月・3ヶ月の短期証を出して納付をお願いしていますが、それでも納付されないときは医療費の全額を自己負担しなくてはならない資格証をだしています。



約500名が出席し、これからの平田村を真剣に議論しました。

皆さんから頂いた意見や要望《ひらたみんなのプラン》を参考に平田村総合計画(第4次)に生かしていきます。

村が掲げる5つの基本構想

基本目標	施策の項目
のびのび・はつらつ ～産業振興分野～	農林業の振興、商工業の振興、観光・レクリエーションの振興、雇用・勤労者対策の充実、消費者対策の充実
ぬくもり・あんしん ～保健・医療・福祉分野～	保健・医療体制の充実、地域福祉の充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実、子育て支援の充実、社会保障の充実
すくすく・いきいき ～教育・文化分野～	幼児・学校教育の充実、青少年の健全育成、生涯学習の推進、生涯スポーツの振興、地域文化の育成、国際化への対応と交流活動の展開
あんぜん・かいてき ～生活環境分野～	道路・交通ネットワークの整備、美しい環境の創造、上下水道の整備、循環型社会の構築、公園・緑地・水辺の整備、住宅施策の推進、交通安全・防犯体制の充実、消防・防災体制の充実、情報ネットワークの整備
かたらい・ちゃくじつ ～住民との協働分野～	開かれた協働のむらづくり推進、自律・自立の自治体経営の推進、コミュニティの育成、男女共同参画・人権尊重社会の形成

●のびのび・はつらつ(産業振興分野)

農林業・商工業の振興について

質問

◇村全体の収入を上げる具体策を示せないか。◇村民の所得が上がらないと良くならない。◇担い手農家、農業後継者の確保の考えは。◇農家の減少・後継者問題の考えは。

回答

◆まず、若者の定住のための施策、雇用の場の確保として、企業誘致等を進める。
また、農畜産業の振興を図るためJAや農業普及所と連携し、担い手農家や農業後継者、新規就農者の確保・育成に努め、農畜産物の生産性の向上及び直売所等の設置計画等により所得向上を目指す。
魅力ある農業の充実も重要である。質の良い農産物の販売により、高収入を得ることも不可能ではない。村では産品開発に力を入れ、味噌など売れる商品作りを今勉強している。皆さんも加工施設組合を利用し、良い産品を作してほしい。



観光・レクリエーションの振興について

質問

◇ジュピアランドの年間利用を考えてはどうか。◇ジュピアランドの年間収入は。◇赤字なら今後の管理を考えるべきではないか。◇ジュピアランドにレジャー施設を併設してはどうか。◇芝桜まつりの食べるところと宿泊場所が必要ではないか。◇芝桜の手入れは早急に実施すべき。◇芝桜は花づくりに興味ある人を頼むという事が結

雇用・勤労者対策の充実

質問

◇人口増の対策として企業誘致が必要。◇企業誘致を積極的に行って欲しい。◇工場誘致はどのような方法をとるのか。◇人口増のため魅力ある村づくりが必要◇雇用がない。◇雇用の場の確保の考えは。

回答

◆企業誘致は村にとって大変重要な課題であり、重要施策と考える。今後も率先して各機関に企業誘致を働きかける。雇用促進も若者の流出を防ぐためには大変重要である。村内企業に村民の優先雇用をお願いしているが、実際地元からの採用が少ないので困っている。今年、小野高校平田分校の卒業生は24名中7名が地元に残る。
県の東京事務所に企業の紹介等を依頼しているが、農村部に工場を誘致するの難しい状況である。これからも根気よく誘致を進めていく。現在村で操業している企業についても継続していくよう村で支援していきたい。



果に疑問がある。◇芝桜まつりの駐車料金の値上げはあるか。

回答

◆将来は年間運営を考えている。現時点では村から1千万円以上を投資している状況である。どういう形で運営していくか、管理運営委員会を次ページへ